

(3)もう一点、筆者は3回Fをディズで多く見られる傾向として挙げているが、運転手がそこからともなく車内にさざざ音の壁を立ち込めるというふうな運転手によるもの。その運転の多くはジャニスラー（フェューランクン）内で洗浄したガラスリンクを浄化する装置）にあるらしいが、これを操作する瞬間に同時にそこに現れるガラスウェイバブルも含め、画面に足りて表示するべきかもしれない。また、そこから洗浄した洗剤がアコンのエアバルスターに向かう配管を出て来たら車内に入る芳香剤などを多くないくらいで、こちらはその車内の少しだけでもいい感じでアロマを楽しんで、こで解決するようだ。



エアコンは暖房時では問題ないが、この際オフを154sに変更しようと考えている。



トは地元民がこのGTA  
をやったうえで実物が  
つくつと現れる



主張はさて、いよいよ自作をボディ・ショップに移動するのだが、その前にヘッドライナーを外してしまうことをした。ちなみに、ここでもドランボウのウイターガントのひとつであり、このJDM Autechに運ばれて来るのはウイターガントが原因。このタイミングで脱帽しているのは、その頭部によってシリカペイントを行っている間に材料を探してリフロー

ヒート気味、室内に漏うガソリン臭、垂れ下がった天井——3rd Fボディの傾向と対策

# THE PROJECT TECH & MECH



## '90 PONTIAC FIREBIRD TRANS AM GTA

“90年型トランザムGTA”  
デイリー・ドライバー化計画。



Vol.2 ボディワーク開始

先月ファクトリーへと遊び込まれて全体的なコンディションが確認されたGTAだが、今月は再び作業場所を移して、ボティワークの作業に入る。こちらの作業もちらほらGTAの状態の確認から、スペシャリストによってGTAのコンディションがどう判断されるかが気になるが、状態を確認する同時に、ウェザーストリップやレンズ類、モール類といった劣化したパーツのオーダーもこの段階で後悔していく必要がある。

■TEXT&PHOTO/よしおか和  
■THANKS/メイド・イン・U.S.A. 382950-84-3315 www.madeinusa.jp  
カレージ・スタイル 01480-32-7226



## **THE PROJECT TECH & MECH**



お出でフロントのサイドマーク・レンズも、その端っこが差し替えて日本仕様となっている。これはたまたま車両が本国仕様のレンズを残っていたのだ。それと交換すればよいのだが、よく見るとベースのプラスチックが一箇破損してい

あるそのプリアント・レッドをオリジナルと並んで調色する方法が、ひとつは個人屋で調色して発送を光に色合わせさせようという方法がある。だが、最近では連携メーカーに年次会員カードと一緒にデータを提出してもらおうのが一般的になっている。



おさらばに顔かな部分をチェックすると同時に、  
エミゲートトリップやモールディングなど、  
車と空港するか再利用するかをひとつひとつ確認  
する上田氏と橋本氏。ちなみに、橋本氏が開  
いたアガードを手で見えていたのは、ダンパー  
がヘタって機能していないから。これも豪華



20



ヨウリヤガラス面鏡のモールディングやキーシリンダーは、フラットブラックに仕上げてもらうつもりだ。

泡手一レンズはアクリルの裏面が光沢として輝くあるべきところが白くなっている。これはなんとか空虚感がないところだが、季節的なことを考えると、できればユースドリーフを撮影したいところ。兼ねていい状態のページを見つけるあるどううか……。



[www.oriental.com](http://www.oriental.com)

プロジェクトのペイント＆モディファイワークを担当してくれたページ。スタイルには、おそらく復讐2-3ヶ月前に通っていたらもうここにない里そうだ。このプロジェクトをモディファイレーションでハイアリティな女性上がり」と語る同窓は、特にA-Cに精通しているので、安心してお



ひび割れて白く剥がれたクリア塗装。これも80年代のAカーによく見られる症状のひとつ。

脚本ライターは既に本国仕様に変換されているが、ディーラー車ならではの、この駆って付けるようなオーバーフェンダーは取り外した上で、下処理を済めてもらわなくてはならない。